

受験番号

令和7年度 大学院看護学研究科 入学者選抜(第Ⅱ期)問題[60分]

専門科目

注意事項

1. 選考開始の指示があるまで冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙は「必須」と「選択」の2枚です。用紙についての不備や、不明な点などがあれば、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
3. 解答は鉛筆・シャープペンシル(HB または B)で横書きに記述して下さい。
4. 監督者の指示に従って、所定の箇所に受験番号を記入して下さい(3箇所)。
5. 解答終了後、問題用紙は各自お持ち帰り下さい。

問題

以下の I～IV の問題のうち、出願した分野の問題を「必須」と書かれた解答用紙に解答しなさい。それ以外の分野の 3 つの問題のうち 1 つを選び、「選択」と書かれた解答用紙に解答しなさい。

I 【慢性看護学分野】

ラザラス (Lazarus, R. S.) のストレスコーピング理論における 2 つのコーピング行動 (問題中心のコーピング・情動中心のコーピング) について、例を用いて説明しなさい。

1. 問題中心のコーピング
2. 情動中心のコーピング

II 【地域看護学分野】

不確実性の高い状況が続いている VUCA の時代において、取り組みたいあなたの考えを述べなさい。

※将来の予測が困難な状況を VUCA (Volatility (変動性), Uncertainty (不確実性), Complexity (複雑性), Ambiguity (曖昧性) の頭文字) という。

III 【看護管理学分野】

2024 年の医師への時間外労働の上限規制の適用に向けた医師の働き方改革をきっかけとして、医療専門職がそれぞれの専門性を軸に、医療の質を担保した効果的なタスク・シフト/シェアを行い、国民から求められている必要でタイムリーな医療の提供することが求められている。

この動きを踏まえ、看護職が専門性を発揮する主体的かつ効果的なタスク・シフト/シェアについてあなたの考えを述べなさい。

IV 【母性看護・助産学分野】

母性看護学で学修した「少子社会における次世代育成支援に関する法律」のなかで、「少子化社会対策基本法」の基本的施策の 8 つを前提に、現代社会における課題について、最も関心があるテーマを設定し、起承転結で構成する小論文を作成しなさい。